

令和7年度（2025年度）第2回東海市3R推進協議会会議録

日時 令和7年（2025年）10月2日（木）

午後2時から

場所 市庁舎501会議室（5階）

1 出席者

(1) 協議会委員（6人）

榊原 弘之 委員長

新井 宝造 委員

平井 正吉 委員

毛利 まり子 委員

坂野 栄生 委員

古賀 祐子 委員

(2) 事務局（3人）

林課長、小島統括主任、安井主任

2 欠席者

4人

3 傍聴者

0人

4 議題

(1) 協議事項

第5次ごみ処理基本計画アンケート調査票について

（資料に基づき事務局から説明）

【榊原委員】

今回、赤字でいろいろ直していただいて、これは、前回の会議の時に我々がいろいろ意見したことを反映していただいているということでしょうか。

【事務局】

はい。まず赤字になっているところが基本的に修正した箇所になっております。委員の皆様からいただいた御意見で、主に修正させていただいたところとしましては、問の20で、新しい設問になっております。また、問の15の赤字

で示したところに関してましても、委員の皆様からの御指摘等を反映させていただいております。

【榊原委員】

問24の3010運動について、これは今回から注釈を付けたのでしょうか。

【事務局】

はい。委託業者と話をした際に、3010運動や、後から出てくるフードドライブなど一般的にあまり馴染みのない言葉に関しましては、米印で分かりやすく説明しております。

【榊原委員】

ありがとうございます。3010運動は、浸透していない場所には分かりにくかったりしますからね。地域関係の懇親会とかでも、この運動はあまりやっていない気がします。

【事務局】

県が推しており、県で啓発物とか用意していただきました。

【榊原委員】

だいぶ我々の意見も今回取り込んでいただいたということで、これで皆さんも御納得いただいたのかなという感じです。では、この議題については終了いたします。

## (2) その他

【坂野委員】

町内会で資源回収を行っているのですが、民間業者がコンビニに回収ボックスを置くことで、資源回収の総量がだんだん減ってきていると業者の方から話がありました。今、特に資源は値段が高いので、民間が当然多く出てきているのですが、そうすると、資源回収をやるメリットがなくなるから、もう止めたほうが良いのではないかと。あと、回収量が少ないのでは業者が取り来れないと。ただ、止めてしまうと、コンビニまで行けない一人暮らしの方達を切ってしまうことになりかねません。そこで一度、全体で検討をしていただきたいものです。コンビニまで行けない人は、資源ではなくてゴミとして出すしかないとなると、ごみの量が増えていく可能性もあります。

【事務局】

昨年度から業者さんにお話を聞いており、業者が無理しないような形でできないかと考えているところです。どれだけ少なくとも、その地域がやりたいのであれば続けていただけるような形で、市がサポートしていければと思い、今進めているところです。坂野委員がおっしゃったように、どうしても地域で出せない方が出てくるので、少なくとも続けていただけるようにしたいと考えています。

【毛利委員】

知らなかったです。そうすると、協力して地域のところに出した方がいい旨を周りに伝えた方がいいですね。

【事務局】

業者が手を引かないような形で市が協力できる範囲はやっていきたいと思っています。

【坂野委員】

お願いします。

終了